

森会長、波多野元理事が受賞

(一社)全国消防機器協会の会長表彰

一般社団法人全国消防機器協会（北爪敬治（きたづめ・けいじ）会長、☎03-3595-1868、東京都港区虎ノ門）が主催して、毎年実施している「消防機器等関係者会長表彰」の平成28年度の「表彰式典および記念祝賀会」が5月31日、東京都港区元赤坂の明治記念館の曙の間で開催された。

全国消防機器協会では、平成28年3月15日付けで設立50周年を迎えた。それを受けて、今回は「設立50周年 記念式典」および「設立50周年 記念祝賀会」も兼ねて、感謝状贈呈式、表彰状授与式がそれぞれ開催された。

設立50周年 感謝状贈呈式

はじめに、感謝状贈呈式では、全国消防機器協会の委員会関係者・役員関係者・正会員（団体）の中から、功労者として選ばれた「内発協（森信昭会長）」を含む合計33名の受賞者全員に対して、北爪会長より、「感謝状」が贈呈されるとともに、「記念品」が贈呈された。

受賞者の内訳は、永年にわたり、委員会運営に尽力した委員会関係者3名。事業運営に特に功績



設立50周年式典会場

のあった役員関係者15名。消防機器等の開発・普及促進等に貢献した正会員（団体）15団体・15名。

委員会関係者として今回受賞した3名のうち、「消防機器開発普及功労者表彰候補者選考委員会」委員長としての永年にわたる功績が評価された、次郎丸誠男（じろうまる・のぶお）氏は現在、内発協の「認証制度運営委員会」副委員長としても活躍されている。次郎丸氏は、総務省審議官・消防研究所所長・危険物保安協会理事長を経て現在、日本消防検定協会顧問、危険物保安協会特別顧問へ就任されている。



内発協に対し感謝状が贈呈された

設立50周年 表彰状授与式

ひきつづき、同じ会場で開催された表彰状授与式では、消防機器等関係者・消防機器開発普及促進等の功労者として選ばれた合計51名の受賞者全員に対して、北爪会長より、「表彰状」が授与されるとともに、「記念品」が贈呈された。来賓の佐々木敦朗（ささき・あつろう）消防庁長官が祝辞を述べた。

今回、消防機器開発普及促進等に貢献された功労者として、内発協が推薦した「波多野容子（はたの・ようこ）元理事＝株式会社ハタノシステム



表彰状を授与されたハタノシステムの波多野容子会長

設立50周年 記念祝賀会

授与式の後、別の部屋に会場を移して、「設立50周年 記念祝賀会」も開催された。祝賀会の会



左からIHIシバウラの永野部長、森会長、波多野会長、佐々木消防庁長官、IHIシバウラの代田社長（祝賀会場で）

取締役会長＝」の1社・1名が受賞した。受賞理由として、永年にわたる自家発電設備の普及促進についての功績が認められた。

なお、内発協推薦者としての波多野容子氏の受賞は、昨年11月の株式会社東京電機相談役の片柳洋一氏に続き2人目。同氏は消防庁長官表彰を授与されている。

また、内発協会員企業の中から、日本消防ポンプ協会推薦により、株式会社IHIシバウラの「永野明彦・防災営業部営業部長」、トーハツ株式会社の「小泉徳生・技術部防災課長」の2社・2名が晴れて表彰受賞者となった。

場には多数の消防機関関係者のほか、消防機器等の開発・製作関係者や、消防関係団体役員らも駆け付けた。複数の来賓が受賞者たちに祝福の言葉を贈るとともに、受賞者たちのこれまでの労をねぎらう気持ちを込めて、全国消防機器協会の副会長の発声により、出席者全員で乾杯を行った。



左は全国消防機器協会の北爪会長

左は危険物保安協会の次郎丸特別顧問